

2020年  
3月24日

火曜日

《5、13面》

## 1人あたり営業利益の5年平均

順位	社名	業容	1人あたり営業利益	直近期の営業利益
1	ストライク	M&A仲介	2365万円	18.9億円
2	エニグモ	個人輸入代行	2130	21.4
3	日本ファルコム	ゲームソフト開発	1884	14.7
4	北の達人コーポレーション	健康食品・化粧品 の販売	1810	18.6
5	センチュリー21・ ジャパン	不動産仲介FC	1669	12.1
6	アルファポリス	ネット小説などの出版	1660	13.6
7	モーニングスター	投信商品評価	1437	16.5
8	日本エス・エイチ・エル	企業向け適性テスト 販売	1348	12.3
9	イトクロ	学習塾検索サイト	1235	14.4
10	ウェルス・マネジ メント	不動産投資	1207	7.5
11	プロッコリー	キャラクター玩具	1036	8.1
12	朝日ネット	ネット接続大手	990	12.7
13	東京楽天地	不動産賃貸・映画興行	984	8.5
14	モルフォ	画像処理ソフト	968	5.9
15	ベステラ	プラント解体工事	953	5.0
16	モバイルファク トリー	スマホゲーム開発	933	11.1
17	エスティック	電動ねじ締め機	911	17.3
18	トリケミカル研究所	半導体用化学薬品 製造	893	21.5
19	テクノメディカ	採血管準備装置開発	871	15.2
20	Abalance	ソフトウェア開発	869	6.1
20	大研医器	医療機器の開発・販売	869	12.5
22	イマジニア	スマホ向けゲーム サービス	846	7.1
23	新報国製鉄	特殊合金	842	6.0
24	デジタルアーツ	閲覧制限ソフト開発	838	26.3
25	スーパーツール	作業工具製造	809	9.5

日本経済新聞社が売上高100億円以下の中堅上場企業「NEXT1000」を対象に、従業員1人あたりの営業利益の5年平均をランキングしたところ、インターネット上でのマッチングやゲーム・小説などのコンテンツ開発を手がける企業が上位に並んだ。首位は中小企業に特化したM&A（合併・買収）仲介サービスのストライクだった。

調査の概要  
直近決算期の売上高が100億円以下の上場企業987社を対象（金融、決算期変更除く）。1人あたり営業利益の5年平均の平均額が大きい順にランキングした。従業員数は原則として有価証券報告書の期末従業員数から算出した期中平均を使った。直近の従業員数が50人未満の企業は除いた。データは3月5日時点

## 1人あたり営業利益

日本経済新聞社が売上高100億円以下の中堅上場企業「NEXT1000」を対象に、従業員1人あたりの営業利益の5年平均を調べたところ、インターネット上に安定して稼げる取引の仕組みを築いた企業が目立った。アパレルや教育の仲介サービスをはじめ、スマートフォン向けゲームなどで、ニッチ分野で効率良く利益を生みだしている。

### 1人あたり営業利益の5年平均

順位	企業名	1人あたり営業利益
1	ストライク	2,365万円
2	エニグモ	2,130
3	日本ファルコム	1,884
4	北の達人コーポレーション	1,810
5	センチュリー21・ジャパン	1,669
6	アルファポリス	1,660
7	モーニングスター	1,437
8	日本エス・エイチ・エル	1,348
9	イトクロ	1,235
10	ウェルス・マネジメント	1,207

（関連記事をNEXT1000の10社にすると上場企業平均の3倍にのぼる。今までは、1人あたり営業利益が上場企業平均の2倍となる6乗せた中堅が並ぶ。